

第8回「チーム 新・湯治」セミナー

コロナ禍で考える、温泉地での滞在に資する食と宿泊施設のあり方 開催概要

心身を整え、リラックス、リフレッシュを支えるとともに、その地域独自の自然環境や歴史と密接に結びつく、食材、料理、食文化等は、温泉地の魅力を構成する非常に重要な要素です。温泉地で多様な滞在の仕方、過ごし方が生まれる中で、新型コロナの影響下にある今、これからの温泉地での滞在に資する食と宿泊施設のあり方について、チーム員の皆さんと一緒に考えます。

●日 時：令和3年3月 10 日（水） 14:00～16:30

●開催形式：オンライン配信 ※新型コロナウイルスの感染予防のため
※YouTube Live で配信

●プログラム：

1. 開会挨拶

2. セミナーの趣旨説明、講師紹介

3. 基調講演「健康の視点から考える、温泉地の食のあり方」

〔講師：株式会社トータルフード 代表取締役 小倉朋子氏〕

「食と心」を柱に、トレンド分析、トレンド企画、食文化、マナー、ダイエット、食育など、幅広く提唱。宿泊施設や飲食店などのコンサルティングとともに、全国の郷土食や失われし伝統食など食文化に関する提案や、それらを通じた地域活性化に取り組む。温泉地での飲食メニュー開発に留まらず、食に対して総合的な視点からアプローチしている。

*小倉様につきましては、「チーム新・湯治」NEWS LETTER No.5(裏面)でも、一部紹介しています。

4. 発表1「地域とつながる新たな宿泊施設の可能性」

〔講師：株式会社いせん 代表取締役／一般社団法人雪国観光圏 代表理事／

合同会社雪国食文化研究所 代表社員／株式会社龍言 代表取締役 井口智裕氏〕
雪国の食文化を地域の生産者や調理人とともに丁寧に掘り起こし、自施設を超えて、地域で飲食、物販など様々な事業を展開。「雪国 A 級グルメ事業」や食文化を体験する滞在プログラム「雪国ガストロノミーツーリズム」をはじめ、地元で暮らすおばあちゃんと一緒に作る土間クッキングや雪原を独り占めしながらのランチなど、雪国ならではの贅沢な時間の過ごし方を提案している。

5. 発表2「現代湯治という視点から見た温泉地での食と連泊滞在」

〔講師：鹿教湯温泉 斎藤ホテル 代表取締役社長 斎藤宗治氏〕

「健康の里」鹿教湯温泉にて、恵まれた自然の環境を活かし、人と自然が調和した心と体の健康づくりに取り組む。温泉療法の効果を感じていただくため、連泊滞在のための料金システムの導入や健康に気遣った料理などを提供。近年においては、温泉街に信州産の素材を使用する菓子を製造・販売する店舗をオープンさせるなど、温泉地の活性化にも取り組む。

6. 意見交換

7. 閉会挨拶

講師プロフィール

おぐらともこ

小倉 朋子 氏 [株式会社トータルフード 代表取締役]



飲食店のコンサルティング、メニュー、戦略開発他、諸外国の食事マナーなど総合的に食を学び、広い視野で強く美しく生きる教室「食輝塾」を長年主宰。食事作法、伝統食、トレンド、食育、箸、食文化、ダイエット、地球食環境他、グローバルな専門が特徴。東洋大学大学院国際観光学修士。青山学院大学卒。トヨタ自動車(株)広報、その後国際会議運営ディレクターを経て、カナダ留学。AHMA認定フードオペレーション・ホスピタリティビジネスディプロマ11種取得。食と宿泊業務コンサルティング指導の後、業務を「食」に一本化し、現在に至る。
公式サイト:株式会社トータルフード(<http://totalfood.jp>)

いぐちともひろ

井口 智裕 氏 [株式会社いせん代表取締役／一般社団法人雪国観光圏 代表理事 ／合同会社雪国食文化研究所 代表社員／株式会社龍言 代表取締役]



新潟県湯沢町生まれ。東ワシントン州立大学経営学部マーケティング科卒業。旅館の4代目。2005年に社長に就任し、「越後湯澤 HATAGO 井仙」として第二創業。2008年には、周辺7市町村で構成する「雪国観光圏」を発足。2013年には、一般社団法人雪国観光圏を設立し、代表理事に就任。2011年には、合同会社雪国食文化研究所を設立し、地元産の農産物を活用したメニュー開発を進め、道の駅で2店舗の飲食店と食品加工場を運営。2018年には、株式会社龍言代表取締役に就任し、現在に至る。
公式サイト:HATAGO 井仙(<http://hatago-isen.jp/>)／雪国観光圏(<http://snow-country.jp/>)
／龍言 ryugon(<https://www.ryugon.co.jp/jp/>)

さいとうむねはる

斎藤 宗治 氏 [鹿教湯温泉 斎藤ホテル 代表取締役社長]



信州・鹿教湯温泉で400年続く老舗旅館で、現在は「現代型湯治ホテル」として経営。明治大学卒業、東京大学大学院修士課程修了。バブルの崩壊で苦戦していた実家の旅館で働きはじめる。2012年代表取締役社長に就任し、現在に至る。湯治や連泊を飽きずに楽しんでいただけるよう、様々な楽しみ方を提案。着地型ツアー「斎藤駕籠屋(さいとうかごや)」の企画・実施や専属トレーナー常駐のフィットネスジムおよび室内プールでのプログラム、ロビーコンサート開催など、長期滞在を楽しむ仕掛けを行い、リピーターを獲得。
公式サイト:斎藤ホテル(<https://www.saito-hotel.co.jp/>)

配布資料(6点)

- 1.プログラム
- 2.第8回チーム新・湯治セミナー参加者一覧及び「チーム新・湯治」チーム員名簿(簡易版)
- 3.基調講演「健康の視点から考える、温泉地の食のあり方」(小倉様)
- 4.発表1「地域とつながる新たな宿泊施設の可能性」(井口様)
- 5.発表2「現代湯治という視点から見た温泉地での食と連泊滞在」(斎藤様)
- 6.チーム新・湯治 NEWS LETTER No.9 [第7回「チーム新・湯治」セミナー]

アンケートのお願い(終了後)

ご参加された皆様にアンケートのご協力をお願いしております。

また、ご発表に関する講師へのご質問も受付けており、
回答は後日みなさまにメールでお知らせいたします。(予定)
回答期間:3/10(水)～3/17(水)

<https://forms.gle/H7ikTQzuFvWhyDSr9>



こちらの QR
コードからも
アンケート回
答画面に移
行できます。

お問い
合わせ

(公財)日本交通公社 チーム新・湯治係(後藤・安谷)宛
[環境省 令和2年度「チーム 新・湯治」運営等実施業務 請負事業者]
【FAX】03-5770-8359 【E-mail】shintoji-seminar@jtb.or.jp
【住所】〒107-0062 東京都港区南青山二丁目7番29号 日本交通公社ビル